

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2023年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。また、本大会はWRk対象競技会として申請しており、WRk対象種目は男子八種競技とリレー以外の全種目とする。

2. 練習について

- (1) 練習はプログラム記載の指定された会場で練習会場使用日程・留意事項に従い実施すること。
- (2) 練習会場では、競技役員・練習会場係の指示に従うこと。
- (3) 投てき練習は必ず引率責任者が付き添い、危険防止に努めること。指定された場所・時間以外の投てき練習は禁止する。

3. 競技場および競技用靴について

- (1) 主競技場・補助競技場の競技競走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴底のスパイクの数は11本以内とする。スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。(WA競技規則TR5)
- (3) WRk申請競技会につき、WA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- (4) フィールド競技用靴ソールの最大の厚さは20mm、三段跳は25mmとする。
- (5) フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。(参考)WAが承認した競技用靴リストのURL
- (6) 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- (7) 競技用靴規程に違反して競技を行った場合は失格とする。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が配布したもの(胸・背2枚)を使用し、そのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- (2) トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受取り、左右の腰につける。ただし、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2～4走のみ左右の腰につけることとする。
- (3) 3000m、5000m、3000mSC、5000m競歩は胸背部特別ナンバーカードを使用する。
(招集開始1時間前までにTICに特別ナンバーカードを受取りに来ること。その際、受付で配布した正規のアスリートビブスを持参すること。)
- (4) 腰ナンバー標識、特別ナンバーカードは回収しない。

5. 招集について

- (1) 招集所は、主競技場第1ゲート(100mスタート地点)の外側に設ける。(競技場平面図参照)
- (2) 招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	25分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	55分前	45分前
棒高跳	1時間40分前	1時間30分前
砲丸投・円盤投・やり投	55分前	45分前
ハンマー投	1時間20分前	1時間10分前

混成競技の各日の1種目めの招集開始及び完了時刻は下記のとおりである。ただし2種目め以降の招集はトラック競技は競技開始時刻の20分前、フィールド競技は40分前に混成競技者控え場所で行う。

種目	招集開始	招集完了
混成第1種目(トラック)	25分前	15分前
混成第1種目(フィールド)	55分前	45分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- (4) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にアスリートビブス・スパイ

クの数と長さ、商標等の点検を受けること。

- (5) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ【2種目同時出場届】に必要な事項を記入し、招集所競技者係に提出すること。

6. 欠場について

出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。
【欠場届】はT I Cで配布する。

7. 競技場への入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心がける。
(2) トラック競技出場者については、以下のとおりとする。
①招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
②競技終了後は第2ゲート（フィニッシュ地点）から退場する。衣服等については、補助員が運搬する。（4×100mRの4走も含む。）
③4×100mRの1～3走は各スタート地点に戻り、それぞれのゲートから退場する。
(3) フィールド競技出場者については、以下のとおりとする。
①招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
②跳躍及び投てき競技役員の誘導によって各ゲートから退場する。

8. トラック競技について

- (1) トラック競技予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
(2) トラック競技の準決勝・決勝の組・走路順は主催者が抽選し、招集所に掲示する。
(3) 混成競技において、トラック種目の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
(4) 全てのトラック競技種目は写真判定（1/100秒）で行う。
(5) 800mまでの種目及びリレー競走における同タイム者及びチームについては、1/1000秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、本人または代理人により抽選を行う。
(6) 1500m・3000m S Cの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

9. リレー競技について

- (1) リレー競技に出場するチームは、【リレーオーダー用紙】を各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までにT I Cに提出する。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係へ提出する。提出なき場合は棄権とみなす。
(2) リレー競走でのユニフォームは、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用しても良い。

10. 跳躍競技について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりである。（状況により変更する場合がある。）

種目	練習	バーの上げ方					
男子 走高跳	1m80 1m95	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後3cm
女子 走高跳	1m45 1m58	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以後3cm
男子 棒高跳	3m90 4m30	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以後10cm
女子 棒高跳	2m50 3m00	2m60	2m80	3m00	3m20	3m30	以後10cm
八種競技 走高跳	1m50 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
七種競技 走高跳	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後3cm

- (2) 第1位及び全国大会出場決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
(3) 棒高跳出場者は、【アップライト申告書】を招集時に持参し、招集完了後に現地競技役員に提出すること。提出後の変更は、棒高跳競技役員に申し出ること。
(4) 男子三段跳の踏切板の位置は12m、女子三段跳の踏切板の位置は10mとする。

11. 混成競技について

- (1) 混成競技の競技者控え場所は、メインスタンド1階の雨天走路内に設置する。
(競技場平面図参照) 競技者以外の立入りは認めない。
- (2) トラック種目の走路順は最終種目(男子1500m・女子800m)を除き主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (3) フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (4) 南北同時刻・同ピットで行われる投てき種目の試技順は、北関東1回目→南関東1回目、北関東2回目→南関東2回目の順で行う。
- (5) 混成競技の最終種目は、それまでの得点上位から順に腰ナンバー標識を配布する。
(女子800mは第9位以降の競技者を1組、第1位～8位までの競技者を2組とする。)
- (6) 途中棄権する者は【欠場届】を混成競技審判員に提出する。

12. イエローカード(以下、YC)について

- (1) WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- (2) 同一種目で2回YCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC提示の累積は、当該種目のみに適用する。

13. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 個人所有の棒高跳用ポールは検査に合格したものが使用できる。検査については、競技会場で練習中に競技役員が行う。
- (3) 投てき競技において、競技者所有の投てき物の持ち込みを次の条件のもとに認める。
 - ①検査に合格する。
 - ②全出場者が公平に競技会で使用できる。
 - ③主催者が検査の可否にかかわらず、投てき物を競技終了まで借り上げる。
 - ④競技会使用により破損しても主催者の責任は問われない。

以上の条件を理解した上で持ち込みを希望する学校・競技者は、競技開始2時間前から1時間30分前までにTICに投てき用具を持参し、併せて【投てき用具検査申請書】(TICに準備)を提出すること。TICで投てき用具を受け付けた際には、【投てき用具預り証】を当該競技者に発行する。当該種目の競技終了後に、TICにて【投てき用具預り証】を確認した上で投てき用具を当該競技者に返却する。

- (4) 練習会場で使用する投てき物は、競技者各自で用意すること。

14. 入賞・得点について

- (1) 各種目の入賞は、第8位までとする。
- (2) 各種目の得点は1位が8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
- (3) 各種目の合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

15. 表彰について

- (1) 各種目8位入賞した競技者(チーム)は競技終了後に表彰式を行うので表彰控所に待機すること。表彰式への参加は各種目6位までとする。ただし、以下の種目は記載のとおり参加とする。
男子5000m競歩・女子5000m競歩は5位まで。
男子走高跳・女子走高跳・男子棒高跳は6位6名まで。女子棒高跳は4位4名まで。
女子三段跳・女子ハンマー投は4位まで。
男子八種競技・女子七種競技は3位まで。
表彰式に参加する者は係員の案内に従い、表彰待機場所に集合する。(競技場平面図参照)
他の種目に出場するため表彰式に参加できない場合は、係員に必ず報告する。
- (2) 表彰式への参加のない入賞者はTICで賞状を受け取る。
- (3) 学校対抗の表彰は閉会式にて実施する。

16. 全国大会出場権について

本大会の各種目6位(走高跳・棒高跳は6位6名、女子棒高跳は4位4名、競歩競技は5位、女子三段跳・女子ハンマー投は4位)まで、全国大会の出場権を得る。ただし、混成競技は3位までと各地

区4位から6位の競技者の中から全国上位5名が出場権を得る。

17. 抗議について

WA競技規則TR 8による。ただし、抗議は各都県監督のみが行えるものとする。

18. 助力について

WA競技規則TR 6に従う。なお、スタンドから映像を見せることは認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししたりしての映像確認は認めない。

19. 商標について

競技場内に下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品（衣類・バッグ等も含む）を持ち込むことは規定に抵触するので慎むこと。

(1) 上衣・下衣（ユニフォーム、シャツ、タイツ等）

学校名/ロゴ：上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ、大きさは問わない。

製造会社名/ロゴ：上下1つずつ、40cm²以内、高さ5cm以内。

(2) バッグ

製造会社名/ロゴ：40cm²以内、高さ5cm以内。

(3) ソックス・手袋・帽子・リストバンド等

製造会社名/ロゴ：1カ所6cm²以内、高さ3cm以内。

(4) 競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する（例えばベストの下にTシャツを着用する、ショーツの下にタイツを着用する）場合には、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

20. TIC（総合案内所：主競技場正面入り口）の業務および提出書類等について

※各配布書類はTICで受け取ること。

配布書類及び業務	提出／受付場所	提出または受付時間
アスリートビブス配布	TIC	6/15（木） 12：00～16：00 6/16（金）以降 7：30～16：00
長距離特別ナンバーカード	TIC	招集開始1時間前までに正規アスリートビブスを持参して受け取ること
2種目同時出場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所競技者係	1組目の招集完了1時間前まで
アップライト申告書	現地競技役員	招集完了後、競技会場にて提出
抗議申立（口頭）	TIC	正式記録発表後（予選・準決）15分以内 正式記録発表後（決勝）30分以内
上訴申立書（文書） （預託金10,000円）	TIC	審判長裁定後（予選・準決）15分以内 審判長裁定後（決勝）30分以内
投てき用具検査申請	TIC	競技開始2時間前から90分前まで
投てき用具返却	TIC	当該種目の競技終了後
記録証明書申請書	TIC	随時（1部300円）
プログラム訂正届用紙	TIC	随時
遺失物保管	TIC	随時
表彰式不参加者の賞状配布	TIC	各種目表彰式終了後から

21. 施設使用について

(1) 主競技場・補助競技場・球技場の使用時間は練習日程表の記載時間とする。

(2) 参加校の待機場所は、各都県に割り当てられた場所を使用すること。待機場所にテープを貼る場合は養生テープのみ使用可とする。ガムテープ、テーピングテープは不可。

(3) テント設置は別紙に記載のとおりとし、許可された場所以外に設置することは厳禁とする。

(4) 主競技場での横断幕設置については別紙「山梨大会について」を参照すること。のぼり旗の設置は1校2本までとする。

22. 応援について

(1) 有観客での実施とするが、基本的な感染症対策については引き続き協力をお願いする。

(2) 声を出しての応援も認めるが、スタート時の応援は慎むこと。また、競技エリア付近での集団応援は禁止する。

23. その他

- (1) 競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- (2) 開会式の式次第についてはプログラムに記載する。
- (3) 貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難や紛失等に十分注意すること。
- (4) 競技者は招集所から競技地点までは原則として誘導に従うこと。
- (5) IDカードが無い者は主競技場内及び補助競技場、球技場に立ち入ることはできない。競技者以外の者はトラック・フィールド内に絶対に入らないこと。
- (6) 主競技場においてはコーチングエリアを設けるので、その指示に従うこと。
- (7) 競技場内では、指定された場所以外には荷物を置かないこと。
- (8) 競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない。(トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと。)
- (9) 競技者は電子機器類(スマートフォン、映像装置、オーディオ機器、通信機器等)を競技場内に持ち込むことはできない。
- (10) 競技者は審判役員の指示に従い、事故等の無いように留意すること。また、「組」「試技順」を確認し、競技進行に協力すること。
- (11) ゴミは原則として各自持ち帰ること。
- (12) 公園利用者の迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- (13) 個人情報の取扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはない。